



第31号

発行所 馬場会  
行電ケ同  
市水沢高校  
水水  
☎0197-24-3151

二十一世紀に入って三度目の新年、同窓生諸氏におかれましては、どう迎えられたことでしょうか。

昨年をちよつと振り返って見ますと、水沢を中心とした胆江地方は、没後二百年ということもあつて、郷土の雄アテルイに明け、アテルイに暮れたと言つても過言とは言えぬ一年でした。だが目を国内全体に向けますと倒産、リストラ、就職難と世は正に平成不況一色の時代であり、一方国外では、種々のテロ活動への怒りは鎮けるにしても、傲慢とでも言える米國ブッシュ政権の姿勢、それに対するイラクや北朝鮮の一步も譲らぬ対応と国際状況は今にも一触即発の状態、この会報が皆さんのお手許届く頃には、すでに世界全体が戦争に巻き込まれ、核兵器による人類滅亡の危機に晒されているかも知れません。このような推測が私の単なる杞憂に過ぎないことを、ただ祈るばかりです。

さて、ここで視点を変えて見ますと、このような混沌とした時代であるからこそ、我々一人一人がどう生

き抜いて行くかが厳しく問われていると言えましょう。そして、その為に我々は一体どうしたらいいのでしょうか。その問いに対して、私は声を大にして、「今こそ郷土の先人に学ぼう」と申し上げたい。



### 郷土の先人に学ぼう

同窓会長 及川 源悦郎

から若くしてこの世を去った地理学者の箕作省吾、同志社の創始者新島譲の後継者と目せられながらも、これ又二十代半ばで早世の山崎為徳、大三菱の柱石であり、日本の経済界に君臨した郷古澤、乙項発見で緯度観測史上不朽の業績を残した水沢在任四十年の木村栄、岩手現代美術の草分けである画家佐々木精治郎等々、優れた先人がおり、スペースの関係上この辺で止めておきますが、まさに枚挙にいとまがありません。

名を持つ氏にしてのことですが、一体そのような発想はどこから生まれたのでしょうか。

後藤伯ばかりではなく、私達と同じ郷土に生まれ、あるいは住み、そして学んで来た先人達が、それぞれの分野で後世に名を残す業績を達成し得たのは、どのような考え方を、どう努力を重ねてきたかを、地縁血縁で結ばれている私達が学ぶことが、必ずや、この閉塞感の強い現状を打開するばかりでなく望ましい日本の国を築きあげていく原動力になるものと固く信じて止みません。

最後になりましたが、同窓生諸氏の御活躍と御健勝を心からお祈り申し上げます。

び、その深い認識の下に行動を起こして来たことは、皆さんよくご存じのことと思います。幸い私どもの郷土には前述のアテルイをはじめ、後藤寿庵、高野長英、後藤新平、斎藤實などの一般的によく知られた先人の他に、幕末の蘭学者で今で言う「万国世界地図」や「地球儀」を製作し、惜しまれな

再建の為に内務大臣にして帝都復興院総裁であった後藤新平は、ここを橋の博覧会場にしようとして新設の橋の設計を公募したとのことです。今でこそ公的な事業へのアイデアを一般から求めることは珍しくありませんが、当時としてはまさに破天荒なことであったと言えます。さすが、大風呂敷の異



# 同窓生と水高生



校長 石田 奉 昭

同窓生の皆様方には、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。日ごろから母校水高高等学校のためにお寄せいただいております物心両面にわたるご援助に心から御礼申し上げます。

明治四十四年四月に胆沢郡立実科高等女学校として創立され、大正二年三月第一回の卒業式を挙行し、十五名の卒業生を送り出しましたが、以来九十年、毎年卒業生を送り出し、ついに平成十四年三月の第九十回卒業生まで、同窓生の数は一万九千四百十三名と、二万名になんなんとする数となりました。その同窓生の皆様方が、各界で大いに活躍されており、心から敬意を表したいと思います。

七月には盛岡支部総会があり、石川支部長さんをはじめ五十名近くの方々が集まってくれました。八月の同窓会役員会は北ホテルで開かれ、スムーズに各役員の方々が決まり、恩師横澤一男先生と菊池信彦先生を囲んでの和やかな会でした。

九月には胆沢町支部総会がブラザイン水沢で開かれ、五嶋支部長さんをはじめ五十名ぐらゐの方々が集まるとの熱気あふれる会でした。十一月には名古屋支部総会があり、佐々木会長さんをはじめ二十名弱の方々が集まってくれて、遠く岩手水沢への熱き思いを、思いつき投げかけ



春の運動会にて

けられた素晴らしい会でした。明けて二月には、二人の同窓生による先輩授業がありました。このように、学校と同窓会との交流が順調にすすんでおります。同窓生皆様の母校を思う温かい心の表れと感謝いたしております。

学校内での動きとしては、今年度から完全学校五日制となり、その対応として一日四十五分七時間授業となりました。また本校では学校評議員制度を十月一日から実施に移し、五人の評議員の方々と、建設的な意見交換を頂いております。また、生徒達の活動を鼓舞する意味で校門わきに大きな顕彰板を作りました。次に、水高高校生の平成十四年度の活躍ぶりのあらましを述べてみたいと思います。

でも春の硬式野球優勝が始まるといいます。これで夏の甲子園が近づいたかと思われました。この他高総体では卓球男子の初優勝、サッカー女子の優勝と、校長室には所狭しと優勝旗やカップが並びました。その後、卓球のインターハイ三回戦進出、県民体での男子卓球と新人戦での女子サッカーの優勝など続々続きました。文化面でも、写真、囲碁、将棋、かるたの全国高文祭に始まり、秋の総合文化祭美術工芸展に九名が入選し、そのうちの三名が特賞(このうちの一が全国の展示会へ出品)と近年にない輝きを見せてくれました。また、胆沢病院ホールでの音楽部コンサートやギャラリーホールでの絵画展など、病院で多くの人々の心を癒しております。

# くすぐれ科学する心



水沢市龍ヶ崎の水沢高 石田奉昭校長、生徒八回十三人は、文部科学省が理科離れ対策として本年度導入したSDP(サイエンス・パートナーシップ・プログラム)事業の指定を受けた。県内外の大学教授が、同校で実学を中心とした体験授業を開講し、生徒たちの興味を引き出している。

## 水高国の理科離れ対策校に

## 大学教授招き 体験授業に力

SDPは大学、研究機関と連携した研究や専門教授と教育現場との連携による授業の雰囲気による先進的な科学技術、「レベルの高さ実感」理科、数学教育を推進する「興味をわきた」る事業。文科省が全国のなどに関心を高めた様中学校、高校が事業実施。同校は、SDP事業の施設を公募し、予算措置を講じて実施。県内では水高が唯一指定を受けた。同校は、仙台市の三井ビル間、県立大や岩手大、東北大学と連携し、九月下旬には理科一、二、三年生の分科の教授七名が県立大と岩手大から来校し、特別講義で体験授業。十月には大人数の理科、三年生、クラス、部大学院生が来校し、講義の計百五十九人が受講。演習など体験授業や実習など上級や留、資料学教育に力を入れていく。生徒たちは「大学の授業と教育現場の連携で生徒たちの意識が変わり、科学的な探究心が高まっている」とSDP事業の成果を強調している。

(出:岩手日報より)

## 今年度の科学講演会の内容

- ① 第一回科学講演会 8月22日 本校 志学館
- ② 「コンピュータの中の大切な情報をまもるには」 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 助教授 猪俣 俊光氏
- ③ 「床ずれ(褥瘡)発生のふしぎ発見」 岩手県立大学 看護学部 教授 武田 利明氏

# 水沢、悲願の初優勝



第49回春季東北地区高校野球県大会

## 専北に 打撃戦制す 総力戦でつかんだV

昨秋の雪辱果たす 専北に打撃戦制す 総力戦でつかんだV 専北に打撃戦制す 総力戦でつかんだV 専北に打撃戦制す 総力戦でつかんだV

(胆江日日新聞より)

- ③ 「昆虫サイエンスと未来生活」 岩手大学 農学部農業生命科学科 教授 鈴木 幸一氏
- ④ 「超伝導を極める!」 岩手大学 工学部材料物性工学科 教授 吉澤 正人氏
- ⑤ 「第2回科学講演会 8月26日 本校 志学館」 東北大学大学院 理学研究科数学専攻 教授 西川 青季氏
- ⑥ 「素粒子と原子核をとらえよう」 東北大学大学院 理学研究科物理学専攻 助教授 前田 和茂氏
- ⑦ 「呼吸器外科と肺移植」 東北大学医学部 付属病院呼吸器外科 講師 松村 輔二氏
- ⑧ 「重金属による環境と健康」 東北大学大学院 生命薬学専攻 生体防御薬学分野 教授 永沼 章氏

平成13年度 激励金交付一覧

交付日	部 活	大 会 名	場 所	備 考
6/15	囲碁将棋	全国高校将棋選手権	福岡	男女団体
〃	弓道	東北弓道選手権	秋田	団体・個人(千田晃)
〃	〃	全国高校総体	熊本	千田晃
〃	卓球	東北卓球選手権	水沢	団体・個人6名
〃	囲碁将棋	全国高校囲碁選手権	東京	女子団体
〃	〃	〃	〃	千田晋平
〃	〃	全国高総文祭囲碁部門	福岡	千田晋平
7/13	水泳	東北大会	秋田	鈴木伸哉 遠藤聡子
7/27	美術	全国高総文祭美術・工芸部門	福岡	平澤和徳
8/3	かるた	全国高総文祭かるた部門	福岡	千田和泉
8/22	卓球	ミニ国体	福島	伊東伸也
〃	〃	国体	宮城	伊東伸也
〃	男子バスケット	ミニ国体	福島	鈴木幸也
9/20	女子サッカー	全日ユース東北地区予選	宮城	山内絃子 桑島奈緒子 菅原早織 亀井悦子
10/26	囲碁将棋	東北高校囲碁大会	福島	菊地達哉
〃	かるた	東北新人大会	盛岡	千田和泉
11/26	卓球	全日本ジュニア卓球選手権	東京	伊東伸也 高橋謙太
12/17	文芸	全国高校文芸コンクール表彰	東京	小野寺智江
〃	囲碁将棋	東北将棋新人大会	秋田	菊池梢 千田智子
1/22	空手	東北空手道選手権大会	秋田	千田隆行
1/30	男子バスケット	東北新人大会	青森	
〃	〃	東北ブロック強化研修会	青森	黒沢至
〃	卓球	東北選抜卓球大会	福島	団体

最近のOBからの寄贈本

- 句集「ふるさと」 小野弘子 高校9回
- 「現代川柳の荒野」 佐藤岳俊(政彦) 高校16回
- 第1集「来し方」 岩崎真平 高校14回
- 句集「みどりご」 伊藤節子 高女8回
- 歌集「いのちありて」 伊藤節子 高女8回
- 子どもの詩「いのちのひびき」 小野寺寛 高校7回
- 「EVERYONE'S SENDAI Part 2」 公務員のための「英会話ハンドブック」 岩淵康民 高校20回
- 行政用語和英辞典 以上 松本 啓 高校6回
- 「18世紀 イギリス文学漫歩」 三陸に道を開いた大和尚 牧庵草便牛の素顔 大内 豊 高校9回

石川・大衛両先達を悼む

昨平成一四年は多くの同窓生諸氏が全国規模で活躍され、また現役の後輩諸君も勉学にクラブ活動に先輩に負けず劣らずの活躍を見せた良き年でありましたが、一方本同窓会にとって悲しい年でもありました。

と申しますのは同年三月に副会長大衛安氏(昭和三〇年卒)が、また四月には元副会長石川徳一郎氏(昭和二七年年卒)が不帰の旅路につかれたからです。

両先達には本同窓会の活動に長年に渡り御尽力頂きましたが、中でも本会報の充実、並びに創立七〇、八〇、及び九〇周年の各記念行事の成功はそれぞれお二人のお力によるところ多大なものがございました。

新世紀に入り、母校水高が更なる発展を遂げている姿を創立一〇〇周年記念の式典で御二方と共に祝うことが叶わぬことは、真に残念至極でなりません。

今はただ石川・大衛両先達にこれまでのお力添えに深く感謝申し上げると共に、御冥福を心から祈り致すばかりです。 合掌

平成十四年度総会

平成十四年度総会は八月十日(土)「水沢北ホテル」で、恩師として横澤一男先生(地学)、菊地信彦先生(世界史)をお招きし三十数名のご出席をいただき開催されました。及川源悦郎会長、石田泰昭校長の挨拶及び事務局からの経過報告に続いて協議に入り予算決算、事業計画がそれぞれ承認されました。

セミナーハウス(水龍館)は、野球部、卓球部をはじめたくさんの方が合宿等の目的で利用してあります。昨年度は延べ人数で六百名の生徒が利用しました。セミナーハウスは建物を広く有効に活用するために、寝具はレンタルの形をとっており、布団を業者から借りて利用しています。生徒の負担をできるだけ軽減したいため、同窓会会計の記念館補助費(年間三十万円)を生徒の布団代に充てることが承認されました。原則として本校生徒からはお金は取らず、他校生が泊まる場合には徴収するという形になります。

なり、各学年の要請により各界で活躍している先輩を招いて、志学館や水龍館で「授業」をしていただくよう計画を進めております。全国の各支部の情報を頂きながら講師を募ることにしました。本年度は一学年の要請により岩手大学と岩手県立大学に通う学生による授業が二月二十五日に行なわれました。大学とはどんな学問をする場なのか、大学で学ぶには高校生は何をすべきかなど、自分の高校時代を振り返りながら優しく先輩たちに語りかけていただきました。

懇親会においては、恩師のお二人の先生方に当時の水高を振り返りながら懐かしいお話をしていただきました。又お二人の教え子もたくさん集まり、先生方のエピソードを交え楽しいひとときを過ごし、いつも変わらぬ和気あいあいのうちに進み来年度の再会と野球部の今年にまさる活躍を祈り、校歌斉唱とエールの後、散会となりました。



# 支部だより

## 盛岡支部総会

(平成十四年七月十二日 六時三十分  
盛岡グランドホテル)

謹啓  
時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
さて、去る7月12日に開催いたしました平成14年度水沢高等学校同窓会盛岡支部総会・懇親会につきましては、ご多忙のところご出席いただき厚く御礼申し上げます。  
お蔭様をもちまして多数の参加により、盛会裡に終了することが出来ました。

今後とも、盛岡地区在住の同窓生の親睦と母校のますますの発展のために尽力して参る所存でありますので、ご協力をお願いいたします。  
また、来年の7月に再会出来ることを楽しみにしつつ、当日の写真を同封させていただきます。  
時節柄、一層の御自愛をお祈り申し上げます。

水高同窓会盛岡支部会長 敬具  
石川敬治郎



平成14年度水沢高校同窓会盛岡支部総会・懇親会



## 同級会のご報告

去る8月17日(土)午後4時より水沢グランドホテルにおいて昭和47年卒の同窓会を開催いたしました。卒業30年にあたり、75名の出席でした。県外在住メンバーの参加も多く、開会直後から「十代」に戻って近況の報告・思い出話・「今だから話せる」話題に大いに盛り上がり延々8

(平成十四年九月五日六時三十分  
プラザイン水沢)  
十年ぶりに、胆沢支部の総会が開催されました。五嶋新二支部長をはじめ五十名余りが参加し旧交を暖めました。議事においては、支部活動の方針と、支部役員の選出が行なわれ承認されました。懇親会においては五嶋支部長の挨拶の後、及川源悦郎同窓会長、石田奉昭校長の祝辞があり、及川昭司教頭の音頭で乾杯に入り祝宴となりました。新支部役員は次のとおり。  
支部長 五嶋新二(三十一年卒)  
副支部長 阿部瑞郎(三十二年)  
石川勘一(三十八年)安倍瑞穂(三十九年) 監事 渡辺正信(三十九年) 高橋修(三十三年) 佐々木繁(三十年) 幹事 鈴木密雄(四十二年) 及川俊和(四十三年) 佐々木徹(五十年) 小野寺女理(四十二年) 藤田春芳(四十三年) 藤田慶則(四十九年) 渡辺文好(四十六年) 佐々木亨市(四十八年) 佐々木進(四十八年) 事務局 渡辺和也(四十二年) 小野寺一也(四十三年) 鈴木富士子(四十二年) 千田憲彰(平成四年)



## 名古屋支部総会

(平成十四年十一月十六日十七時三十分  
大同特殊鋼健康会館2F)

謹啓  
早や本年も年の瀬を迎え、何かと慌ただしさが増して参りました。今日この頃、皆様には益々ご清祥のことと大慶に存じます。去る十一月十六日の名古屋支部第八回総会開催にあたりましては、石田校長先生、宮澤先生、小野先生のご臨席を頂き、遠路にも拘りませず、又大変ご多忙中のところご参加くださりまして、誠にありがとうございました。  
例年になく所用繁忙等の会員が多く、参加者が少なく少々寂しかったのですが、その分、ご出席頂きました皆様様が盛り上げてくださりまして、お陰様にて和気藹々大盛況のうちを終了することができました。改めて厚く御礼申し上げます。

同窓会活動へ、できるだけ多くの方々にご参加頂くために、ご提案などございましたら事務局までご一報くだされば幸いです。何卒主旨ご賛同くださりまして、今後とも名古屋支部へのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。来年も又ぜひとも再会できますことを切望いたします。



水高同窓会名古屋支部会長 佐々木稔治  
(写真提供 富田 忠 9回32年卒)

## 添田先生の定年退職を祝う会

### 退職を祝う会

7月20日水沢市葉師堂温泉にて、水高35回卒添田均先生の定年退職を祝う会が開かれた。先生が初めて担任した1年4組の生徒を中心に、約40名が兄貴「ソエキン」を慕って全国各地から集まり大宴会となった。当時ハードル競技で県の記録保持者であった先生は、顔がどちらが前でどちらが後なのかわからないほど日焼けしており、笑った時に見える白い歯だけがその判断材料だった。私達の先生であり先輩であるという事以上に、いろいろな事を私達に示してくれた先生でした。先生は挨拶の中で自分の輝かしい経歴にはあまり触れず、今現在の世の情勢を心配し、教え子たちが今の苦しい時代のハ-



(資料提供 第20回卒 横山雅年)



# 同窓生からよせられた手紙より

## 頑張り水高野球部

私は、甲子園球場に近い尼崎市にある園田学園高校に勤務する水高卒業生です。(昭和45年3月卒、22回卒業生)、こちらに勤務してすでに27年になります。毎年夏のこの時期になると、いてもたってもいられません。「我が母校の野球部、今年はどうかな?」「一度でいいから甲子園の土を踏んでくれよ」「是非、みんな、あの広い甲子園球場いっぱいには水高の校歌と応援歌を高らかに歌おうではないか?」と、胸の高まりを覚えるのです。

水高野球部諸君!東北人の質実剛健・気魄の精神で甲子園出場を栄冠を勝ち取られることを期待しております。

テニスの伊達公子に世界史を  
教えた高橋正吾より

## 水高さぶろく会

### (昭和36年卒同級会)のこと

今を去ること、42年前卒業式後肩を組み、校舎をねり歩いて、旧体育館で「パンザイ」をして巣立った私たちの泊を伴った修学旅行先である松島の地で、現地集合の同級会を企画したのであります。「松島一の坊」は海の見える素敵なホテルでした。フロントの受付機の標示、向いが東北学院高36会、こちらが水高さぶろく会という具合で、奇妙な一致でした。「ヤアーしばらく」とすぐ思い出せる人と本当にしばらくで、じっくり見つめて考えないと思いつく人、42年の年月は、相手から見ると自分もそうなのだと想うと、笑うこともできない。先生方は、42年前そのままと言っては失礼ですが、正に

若く、あの時代の印象で登場されました。わが4組担任の高橋力先生、新人生歓迎マラソンでだんごをご馳走してくれたように、この日も車中でだんごを準備してくれたのであります。あの時も、今日も正に恩師であります。ごちそうさまでした。3組担任の峯岸宣夫先生、先生は、前立腺ガンの手術後体調不調のところ、私たちのために、今後の健康管理の大切さを、体験をふまえて、本当にいいねいにお話下さいました。2組担任の岩淵正和先生、先生は、足どり軽く、リズムにのって、和算のお話をしていただきました。1組担任は横澤一男先生、42年前も若い先生でしたが、やっぱり若々しく、水高に赴任する時の話と現況をお話

りですが酒を酌み交しつつ、遠い昔の、一年半入橋、二年胆沢川、三年小谷木橋でのわくわくしながらの園遊会の話、修学旅行最終夜の熱海のホテルでのホークダンスの途中、いいところでやめさせられ残念だったこと、アサリさんやシジミさんの15円のそばのこと、シジミさんの娘さんと、中央廊下のこと、ゴヤ話のこと等々話は際限なく続いたのであります。あつという間に時は経過して、校歌斉唱となってしまったのである。続いて、私宮澤のメールの出版でしたが、かなりの酷評度だったので、口上は全く記憶にありませんが、とにかく先生方と同級生みんなへのメールをしたつもりです。最後は及川征一君と阿部琢也君のリードで逍遙歌を歌い、旧交をあたためる会は愉快な終了となったのであります。とにかく、よかったです。よかったです。

(文責) 宮澤春吉  
平成14年9月14・15日  
「松島一の坊」

## 同窓会報に感謝して

春とは名のみ又大雪に驚かされた昨今でございます。いつも同窓会誌を頂きいくら高齢とは申し乍も申訳ない気持ちでペンを取りました。

私は水沢ではなく三陸、今なら釜石ですがその頃は気仙郡唐舟村より父かたの親類が水沢でしたので寄宿舎に入つての四年間でした。その後中国のハルビンに嫁ぎ子供二人を連れての引揚者でした。幸い夫は軍隊から帰つておりました。転勤のある職で、東北地方を転動して、最後は現住所に住み、現在、子ら四人は皆健在ですが別居で老い二人の日々でございます。でも長男は車で五分位の滝沢に住んでおりますので不安のない日々でございます。

水沢にも若い時は度々参りました。が友らも皆、病氣やら何やらと、私も夫が高齢です。で参り兼ねております。同窓会長さんの「新しき変革の時を迎えて」を読み今の日本の余りの変りように老いとは言いやら

考えさせられる昨今でございます。

明るさの見えない今の日本汚職事件が一面記事にのつている昨今の新聞、いつの世にもあつたとは思いますが、余りに多いことも明るさの見えない原因でしょうか。私は二十四年間、民生児童委員として幾分働いて参りましたがいまは町内の片隅で近くの人々のお世話を頂き乍ら老いの日々を過ごしております。もう忘れられて宜しい私に同窓会報をお送り下さいました事を誠に有難く感謝申し上げます。

水沢高校の益々のご発展を念じて  
おります。

平成十四年三月八日

かしこ

玉懸 利恵

(高女 昭和14年卒)



## 卒業し半世紀、母校訪れ面影たどる 水沢高 4回生



水沢市龍ヶ馬場の県立水沢高校(石田奉昭校長、生徒数843人)の第4回生63人が23日、2人の恩師とともに母校を訪れた。卒業

## 「昔は木造平屋の校舎だった」

第4回生318人は1952(昭和27)年3月に同校を卒業。今年、卒業50周年を迎え、記念事業としてアルバム作製や同級会を企画した。同日は同級会を開く花巻市内の会場へ向かう前に、参加者85人のうち65人が同校に立ち寄った。

石田校長に「お帰りのなさい」と迎えられた4回生は、植物園や校舎、格技場、グラウンドなど校内を30分ほど見学。「昔は木造平屋の校舎だった。新しい建物が増え、教育環境がすっかり整った」と驚きながら、学校生活の思い出話に花を咲かせた。

授業の合間に応援団が駆けつけメールを送ると、4回生は感動した様子で、後輩たちの気持ちに拍手で応えていた。

(胆江日日新聞より)

# '03 クローズアップ

視察報告のチェックシートを考案した



**鈴木武敏さん**

74年水沢市役所入り、76年、市民生活課課長補佐。01年、市民生活課長。同市で豊河学区の25、51歳、同市生まれ、49歳。

現在、札幌市で生活。札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。

選手権八幡宮鎮座1200年祭実行委員長



**菅原孝作さん**

70年水沢市役所入り、76年、市民生活課課長補佐。01年、市民生活課長。同市で豊河学区の25、51歳、同市生まれ、49歳。

現在、札幌市で生活。札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。

アフガニスタン報道で唯一、上田新聞記者賞を受賞



**及川 仁さん**

1985年共同通信社入社。外報部、アフガニスタン報道で唯一、上田新聞記者賞を受賞。

現在、札幌市で生活。札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。

米国の教育実践書「ペアレント・プロジェクト」を翻訳出版した



**玉山幸芳さん**

89年長閑会社を立ち上げ、札幌市の読者と読者のための事業を営む。

現在、札幌市で生活。札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。

希望をもってアクションを起こせ



**松好利尚さん**

エアラインパイロット

「できるだけ長くパイロットとして活躍するために必要なことには突きつけています。」

言葉の軽い時代に

命響く児童詩集出版



**小野寺寛さん**（水沢・元小学校長）

指導25年、珠玉95編

高齢者の茶飲み話の場「木蘭クラブ」を設立



**及川睦男さん**

74年水沢市役所入り、76年、市民生活課課長補佐。01年、市民生活課長。同市で豊河学区の25、51歳、同市生まれ、49歳。

現在、札幌市で生活。札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。

お手伝いしたいと思いついて……



**北郷昌子さん**

全道から女子看護士権大会の和歌山県代表として出場した

金ヶ崎町の新教育長



**佐藤 順さん**

76年水沢市役所入り、76年、市民生活課課長補佐。01年、市民生活課長。同市で豊河学区の25、51歳、同市生まれ、49歳。

現在、札幌市で生活。札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。

県公安委員会の新委員長



**佐藤ソノ子さん**

60年教師、赤松、古橋、佐倉各小学校を経て98年水沢市立第一小学校校長。同市生まれ、49歳。

現在、札幌市で生活。札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。

県不動産コンサルティング協会理事長



**小野寺俊博さん**

76年水沢市役所入り、76年、市民生活課課長補佐。01年、市民生活課長。同市で豊河学区の25、51歳、同市生まれ、49歳。

現在、札幌市で生活。札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。

県高野連の新会長



**佐藤 淳さん**

76年水沢市役所入り、76年、市民生活課課長補佐。01年、市民生活課長。同市で豊河学区の25、51歳、同市生まれ、49歳。

現在、札幌市で生活。札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。

松好利尚 (高47回・平7卒)

小野寺寛 (高7回・昭30卒)

小野寺俊博 (高18回・昭41卒)

佐藤 淳 (高14回・昭37卒)

札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。

札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。

札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。

札幌市の福祉、教育、環境、防災などについて、市内で視察報告のチェックシートを考案。

2002年(平成14年)1月26日(土曜日)第1920号

ケアマナジャーの仕事は、一生懸命やるほど忙しくなります



加瀬千代子さん  
(改川村大卒)

自分の欠点を知って、補う努力が大切

いんたびゆ No.110

加瀬千代子 (高24回・昭47卒)

2002年(平成14年)2月16日(土曜日)第1920号

最近は大いなる風を気にしなくなりました

能登で暮らした日々つづり  
「なまこ」のひとりごと」出版



水沢市の佐藤敬太さん

脱サラして漁師に

佐藤敬太 (高38回・昭61卒)

2002年(平成14年)2月16日(土曜日)第1921号

この人に聞か

SR開発(水沢市)  
社長菅野昌之さん

環境と福祉の向上に



菅野昌之 (高12回・昭35卒)

2002年(平成14年)3月9日(土曜日)第1921号

「日々を精いっぱい頑張って」  
NHKアナウンサー・阿部渉さん

母校・水沢中訪れ講演  
紅白の司会再現、失敗談も  
後輩たちにエール送る



阿部 渉 (高38回・昭61卒)



平成13年11月2日 朝日新聞

### 秋の褒章7人に

秋の褒章が発せられ、褒章に3人、教育や社会界内では人が受賞し、褒章を大賞の利益に返した。長年ひとつの仕事を打ち込み、卓越した技能を持つ人に贈られる褒章。日付で発せられる。2人

小川 博 (建築設計事務所 顧問)  
水 洋一 (農業 茨城県 市)  
吉田 育弘 (運輸部 関係 関係)

有原 進 (自治体関係 関係)  
上野 祐樹 (児童福祉施設 関係)  
千賀 大輔 (関係 関係)  
三田 セツ子 (関係 関係)  
三田 セツ子 (関係 関係)  
三田 セツ子 (関係 関係)

「あの人を書くから、私も書くではない。投票はあくまで自分の判断です。その判断で、若し人たちが買ってくれるならいいもの。60(昭和35)年から水沢市明る選挙推進委員を務め、90年から同推進協議会長。実践してきた「棄権しない! 贈らない! 求めない! 受け取らない!」の選挙の4ない運動」の言葉に力がある。

「あの人を書くから、私も書くではない。投票はあくまで自分の判断です。その判断で、若し人たちが買ってくれるならいいもの。60(昭和35)年から水沢市明る選挙推進委員を務め、90年から同推進協議会長。実践してきた「棄権しない! 贈らない! 求めない! 受け取らない!」の選挙の4ない運動」の言葉に力がある。

「あの人を書くから、私も書くではない。投票はあくまで自分の判断です。その判断で、若し人たちが買ってくれるならいいもの。60(昭和35)年から水沢市明る選挙推進委員を務め、90年から同推進協議会長。実践してきた「棄権しない! 贈らない! 求めない! 受け取らない!」の選挙の4ない運動」の言葉に力がある。

# 13年度 秋の褒賞

(高女16回・昭和17年卒)

三田 セツ子さん



中央花束を持っている  
三田セツ子さん

平成13年秋の褒賞で藍綬褒賞を受賞されました。私達同級生有志でお祝いの会をいたしました。11月23日(高女16回17年卒)

# 14年度 秋の褒賞

(高女16回・昭和17年卒) 千葉 恭子さん



## 「投票は自分の判断で」

千葉 恭子さん

「あの人を書くから、私も書くではない。投票はあくまで自分の判断です。その判断で、若し人たちが買ってくれるならいいもの。60(昭和35)年から水沢市明る選挙推進委員を務め、90年から同推進協議会長。実践してきた「棄権しない! 贈らない! 求めない! 受け取らない!」の選挙の4ない運動」の言葉に力がある。

「あの人を書くから、私も書くではない。投票はあくまで自分の判断です。その判断で、若し人たちが買ってくれるならいいもの。60(昭和35)年から水沢市明る選挙推進委員を務め、90年から同推進協議会長。実践してきた「棄権しない! 贈らない! 求めない! 受け取らない!」の選挙の4ない運動」の言葉に力がある。

「あの人を書くから、私も書くではない。投票はあくまで自分の判断です。その判断で、若し人たちが買ってくれるならいいもの。60(昭和35)年から水沢市明る選挙推進委員を務め、90年から同推進協議会長。実践してきた「棄権しない! 贈らない! 求めない! 受け取らない!」の選挙の4ない運動」の言葉に力がある。

資料提供 菊田富子さん(高女16回)



新人戦2位のバスケット部

- 〈剣道部〉
  - 男子
    - ・岩手県高校総合体育大会 団体 ベスト8
    - ・岩手県民体育大会 個人 ベスト16
    - ・岩手県新人体育大会 団体 2回戦
  - 女子
    - ・岩手県高校総合体育大会 団体 予選リーグ敗退
    - ・岩手県民体育大会 個人 ベスト16 三ノ宮藍子
    - ・岩手県新人体育大会 団体 2回戦
- 〈柔道部〉
  - 男子
    - ・岩手県高校総合体育大会 ベスト8
    - ・岩手県民体育大会 2回戦
    - ・岩手県新人体育大会 ベスト8
  - 女子
    - ・岩手県高校総合体育大会 ベスト8
    - ・岩手県民体育大会 菅原栄伸
    - ・岩手県新人体育大会 団体 100kg超級
    - ・岩手県新人体育大会 個人 100kg超級

- 〈書道部〉
  - ・県高総文祭 立休1点
- 〈美術部〉
  - ・県高総文祭 入選 絵画8点
  - ・特賞 菊池 映(全国大会出場)
  - ・特賞 佐々木裕美
  - ・特賞 八重柏裕美
- 〈音楽部〉
  - ・全日本合唱コンクール 岩手県大会 銅賞
  - ・全日本吹奏楽コンクール 岩手県大会 銀賞
  - ・全日本アンサンブルコンテスト 岩手県大会 木管四重奏 金賞
- 〈吹奏楽部〉
  - ・全日本吹奏楽コンクール 岩手県大会 木管四重奏 金賞
- 〈写真部〉
  - ・東北地方道路写真コンテスト 高校生の部 最優秀賞 鈴木聡子
- 〈文芸部〉
  - ・県高総文祭 優秀賞 新川可那子
  - ・全国高校文芸コンクール 短歌部門 優秀賞 新川可那子
  - ・県高総文祭 入選 小原理恵



新人戦3位のソフトテニス部女子

- 〈陸上競技部〉
  - 男子
    - ・岩手県高校総合体育大会 菊池絃一郎 走幅跳 6位
    - ・岩手県新人体育大会 後藤 亮 槍投げ 5位
  - 女子
    - ・岩手県高校総合体育大会 大内いづみ 100mH 7位
    - ・岩手県新人体育大会 高橋摩帆 走高跳 4位
- 〈山岳部〉
  - 男子
    - ・岩手県高校総合体育大会 団体 第7位
    - ・岩手県新人体育大会 団体 第3位

- 〈囲碁将棋部〉
  - ・県高総文祭 将棋部門 個人 優勝
  - ・団体 第3位
  - ・菊池 精(全国大会出場)
  - ・囲碁部門 男子個人 第2位 菊池達哉
  - ・(県団体メンバ1全国大会出場)
  - ・女子個人 第2位 永澤 桂
  - ・(県団体メンバ1全国大会出場)
  - ・県級別大会 将棋部門 A級 ベスト8 鈴木慶春
  - ・新人大会 将棋部門 A級団体 予選リーグ
  - ・囲碁部門 団体 ベスト8
- 〈かるた部〉
  - ・県高総文祭 小倉百人一首かるた部門 優勝 千田和泉(全国大会出場)
- 〈生徒会誌〉
  - ・「みずこう」奨励賞
- 〈ESS〉
  - ・水沢市国際交流協会感謝状

- ◆退職
  - 宮澤 春吉(公民)
- ◆転出
  - 高橋 満(校長) 盛岡第三
  - 高屋 勝彦(事務長) 盛岡北
  - 千葉 葉子(家庭) 千厩
  - 高木 裕子(国語) 大船渡
  - 舟山 晋(地歴) 大船渡
  - 細野 進(英語) 宮古
  - 時田 里志(地歴) 県立博物館
  - 青木 裕信(化学) 盛岡南
  - 佐藤かな子(英語) 宮古工業
  - 太田 智聡(国語) 遠野緑峰
  - 鹿糠 康一(主事) 久慈商

- ◆転入
  - 石田 奉昭(校長) 平舘
  - 岩渕 政志(事務長) 一関聾
  - 村木 吏(化学) 盛岡第三
  - 石川 克紀(国語) 盛岡第三
  - 佐々木和哉(地歴) 盛岡第三
  - 中村 敏彦(地歴) 盛岡北
  - 小原 建辰(公民) 盛岡市立
  - 古玉 敦(英語) 遠野
  - 多田江利子(家庭) 種市
  - 小原 太郎(国語) 大野
  - 大内 寿文(英語) 新採用
  - 近藤 孝(英語) 常勤講師
  - 八幡真理子(主事) 生涯学習文化課
  - 若槻 隆雄(英語) 非常勤講師
  - 高木 俊士(数学) 常勤講師

### 平成十四年度 職員異動

# 平成14年度部活動の記録

## 水高に文武両道の花咲き乱れ

### 《運動部》

- 〈卓球部〉
  - 男子
    - ・岩手県高校総合体育大会 団体 優勝
    - ・インターハイ：ベスト16
    - ・伊藤伸也 阿部慶一郎
    - ・佐々木光太郎 加藤慶之
    - ・伊藤伸也・高橋謙太
  - 女子
    - ・全日本ジュニア県予選 加藤慶之
    - ・岩手県新人体育大会 団体 第3位
    - ・個人 シングル 第2位 阿部慶一郎
    - ・個人ダブルス 第3位 加藤慶之
    - ・優勝 阿部慶一郎・那須吏貴
    - ・加藤慶之・佐々木光太郎
    - ・岩手県選抜大会 団体 第2位
    - ・岩手県高校総合体育大会 団体 2回戦
    - ・個人 シングル 第2位 阿部慶一郎
    - ・個人ダブルス(東北大会出場) 村上真美・高橋沙綾
    - ・岩手県新人体育大会 個人ダブルス
- 〈サッカー部〉
  - 男子
    - ・岩手県高校選抜選手権 2次予選 ベスト24
    - ・岩手県高校総合体育大会 優勝
    - ・東北大会第3位
    - ・岩手県民体育大会 第3位
    - ・岩手県選抜大会 第2位
    - ・岩手県新人体育大会 優勝
  - 女子
    - ・春季東北地区高等学校野球大会 優勝
    - ・岩手県大会(東北大会出場)
    - ・高等学校野球選手権大会 4回戦進出
    - ・岩手県秋季大会 1回戦敗退
    - ・岩手県大会 1回戦敗退
- 〈バドミントン部〉
  - 男子
    - ・岩手県高校総合体育大会 第3位 優秀選手 黒沢 至
    - ・岩手県民体育大会 第3位
    - ・岩手県新人体育大会 ベスト8
    - ・岩手県高校総合体育大会 第3位 優秀選手 岩淵 梓
    - ・岩手県民体育大会 第3位
    - ・岩手県新人体育大会 第2位
  - 女子
    - ・岩手県高校総合体育大会 2回戦
    - ・岩手県民体育大会 2回戦
    - ・岩手県新人体育大会 第3位
    - ・岩手県高校選抜大会 第3位
- 〈バレーボール部〉
  - 男子
    - ・岩手県高校総合体育大会 団体 第6位
    - ・岩手県民体育大会 団体 近似的 優勝
    - ・岩手県新人体育大会 個人 優勝 佐藤佳久
  - 女子
    - ・岩手県高校総合体育大会 団体 第3位
    - ・県下花巻弓道大会 団体 優勝
    - ・岩手県民体育大会
    - ・岩手県新人体育大会
- 〈水泳部〉
  - 男子
    - ・岩手県高校総合体育大会 100mフリースタイル 第5位
    - ・小野寺健太 東北大会出場
    - ・藤井・高橋・鈴木・小野寺
    - ・岩手県民体育大会 東北大会出場
    - ・岩手県新人体育大会 東北大会出場
  - 女子
    - ・岩手県高校総合体育大会 100mブレスト 第4位
    - ・信田莉葉 東北大会出場
    - ・200m個メドレー 第8位
    - ・村上江里子 東北大会出場
    - ・400mリレー 第8位
    - ・信田・遠藤・村上・佐藤
    - ・岩手県民体育大会 東北大会出場
    - ・100mブレスト 第2位

- 〈バレーボール部〉
  - 男子
    - ・岩手県高校総合体育大会 ベスト8 優秀選手 千葉健司
    - ・岩手県民体育大会 ベスト8
    - ・岩手県新人体育大会 第3位 優秀選手 村上雄樹
  - 女子
    - ・岩手県新人体育大会 2回戦
- 〈ソフトテニス部〉
  - 男子
    - ・岩手県高校総合体育大会 2回戦
    - ・岩手県民体育大会 第3位
    - ・岩手県新人体育大会 第2位
  - 女子
    - ・岩手県高校総合体育大会 2回戦
    - ・岩手県民体育大会 2回戦
    - ・岩手県新人体育大会 第3位
    - ・岩手県高校選抜大会 第3位



新人戦13年連覇の女子サッカー部

- 〈ハンドボール部〉
  - 男子
    - ・岩手県高校総合体育大会 団体 ベスト8
    - ・岩手県民体育大会 ベスト8
    - ・岩手県新人体育大会
  - 女子
    - ・岩手県高校総合体育大会 2回戦
    - ・岩手県民体育大会 第4位 東北大会出場
    - ・岩手県新人体育大会
- 〈ラグビー部〉
  - 男子
    - ・岩手県高校総合体育大会 ベスト8
    - ・岩手県民体育大会 ベスト8
    - ・花岡岩手県予選 ベスト8



# 後輩も頑張っています

## 最近5年間の大学合格状況

大学名	卒業年	14	13	12	11	10
国公立	延人数	121	132	136	149	129
	実人数	120	129	130	132	103
私立延人数		218	244	240	306	204
北海道		2	3	0	0	0
弘 前		6	7	8	4	10
岩 手		20	25	28	22	24
東 北		5	9	13	11	7
宮城教育		1	2	1	5	2
秋 田		4	5	2	4	5
山 形		2	15	12	12	12
福 島		10	9	11	6	2
茨 城		5	4	4	9	6
筑 波		3	1	2	3	3
宇 都 宮		4	1	2	3	2
埼 玉		5	2	4	3	4
千 葉		1	3	2	1	2
東北学院		19	26	27	31	14
慶応義塾		0	1	3	1	0
中 央		7	7	8	2	6
法 政		4	4	3	4	6
明 治		9	12	7	5	4
早 稲 田		6	9	8	7	7
東 大		0	0	0	1	0

# 卓球 インターハイベスト16!!

岩 手 日 報

2002年(平成14年)8月8日(木)

卓球男子団体は、水高が10月に出場する。インターハイベスト16に選出された。10月に出場する。インターハイベスト16に選出された。10月に出場する。インターハイベスト16に選出された。

**接戦を制し勢い 水沢**

インターハイの準々決勝、水沢は、岩手県立宮城教育大付属高校と対戦し、3-1で勝利した。水沢は、試合中、粘り強くプレーし、最終的に勝利した。

卓球	男子	女子
1	水沢 健太	水沢 健太
2	水沢 健太	水沢 健太
3	水沢 健太	水沢 健太
4	水沢 健太	水沢 健太
5	水沢 健太	水沢 健太
6	水沢 健太	水沢 健太
7	水沢 健太	水沢 健太
8	水沢 健太	水沢 健太
9	水沢 健太	水沢 健太
10	水沢 健太	水沢 健太
11	水沢 健太	水沢 健太
12	水沢 健太	水沢 健太
13	水沢 健太	水沢 健太
14	水沢 健太	水沢 健太
15	水沢 健太	水沢 健太
16	水沢 健太	水沢 健太

# 水沢、3回戦に進出 男子団体



卓球男子団体戦、水沢、宮城教育大付属高校との接戦。水沢は粘り強くプレーし、最終的に勝利した。



県高総体優勝の喜びにわく卓球部

# 編集後記

◆昨年の会報(第30号)の9ページの「絵の御寄贈」の記事に誤りがありましたので、次のように訂正しお詫び申し上げます。高橋寿先生を佐々木恒先生に。青木須摩子さんを青木須磨子さんにご訂正願います。

◆クロージアアップの欄は会報の作成の締切の関係で12月までのものをピックアップしております。その後の記事は来年度の会報に掲載する方針です。ご了承願います。又15年2月21日に仙台支部の同窓会が開催され、そして「先輩による授業」も2月25日に行なわれました。これらも次号に掲載する予定です。

◆平成15年度水高同窓会関東支部総会が11月15日(土)12時より、千代田区大手町の経団連会館で12時より開催されます。ぜひご参加ください。(連絡先日本水道新聞社:佐々木敏夫 ☎〇三三二一六四六七二五)

◆野球部の春季初優勝のためか、たくさんの方の激励の手紙が事務局に届いた年でした。その中で特に感銘を受けた先輩からの手紙を今年の会報に掲載させて頂きました。今後とも全国の同窓生の皆さん、水高の発展に応援よろしくお願いたします。